

# 福岡テニス通信

No.復刊号 <2025・1・15(水)>



新日本スポーツ連盟

福岡市テニス協議会

hinspofukuokatennis@gmail.com

https://fukuoka-shinspo-tennis.com

## 年頭のごあいさつ

2025年の念頭にあたり新年のご挨拶を申し上げます。新スポ連では文化的な生活、レベルアップ、平和的で民主的な共同、世界平和を大切にし、初心者から上級者まで誰もが参加できる運営を目指しています。「テニス協議会」もテニスを通じて会員同士の交流、親睦を図る事を目的に運営をしています。本年4月の大会から運営方法競技規則及び試合運営等若干の変更をしながら、本年の干支「巳」の如く少しずつ脱皮しながら会員の皆様とともに新しく生まれ変わり未来に向かって元気に躍進していく所存です。

本年もどうぞよろしくおねがいたします。

(福岡市テニス協議会・会長 尾崎延芳)



## 2025年度の日程決まる

年	月	日	曜	大会名	会場	時間帯	面	コート
2025	5月	4日	(日)	第47回春季ダブルス	オクゼン	9~19	6	No8~13
	5月	24日	(土)	第135回春季シングルス	オクゼン	9~19	10	No4~13
	5月	25日	(日)	第135回春季シングルス	オクゼン	9~19	10	No4~13
	6月	14日	(土)	第46回会長杯ダブルス	西部運動公園	9~19	6	No5~10
	6月	15日	(日)	第46回会長杯ダブルス	西部運動公園	9~19	6	No5~10
	7月	26日	(土)	第136回夏季シングルス	オクゼン	9~19	10	No4~13
	8月	3日	(日)	第136回夏季シングルス	オクゼン	9~19	10	No4~13
	8月	23日	(土)	第46回夏季ダブルス	オクゼン	9~19	7	No4~10
	8月	24日	(日)	第46回夏季ダブルス	オクゼン	9~19	7	No4~10
	8月	30日	(土)	全国予選・県スポ祭典	オクゼン	9~19	10	No4~13
	8月	31日	(日)	全国予選・県スポ祭典	オクゼン	9~19	10	No4~13
	10月	18日	(土)	第137回秋季シングルス	オクゼン	9~19	10	No4~13
	10月	19日	(日)	第137回秋季シングルス	オクゼン	9~19	10	No4~13
	11月	9日	(土)	第5回秋季ダブルス	オクゼン	9~19	7	No4~10
2026/	12月	20日	(土)	第26回冬季シングルス	オクゼン	9~19	10	No4~13
	12月	21日	(日)	第26回冬季シングルス	オクゼン	9~19	10	No4~13
	1月	10日	(土)	第35回新春室内ダブルス	博多の森	9~19	4	No1~4
	3月	8日	(日)	第42回オープンシングルス	オクゼン	9~19	10	No4~13

今年も九州ブロック大会

熊本での開催を準備しています。

全国大会、今年は千葉県開催  
2025年11月予定

# 恒例の漢字一文字 “決意や抱負”

私の

# 見てください、今年のテニス

冬季Sと新春室内Dの参加者に聞きました



ひと文字に秘めた皆さんの活躍に期待です

プレイバック

# 第35回全国スポーツ祭典沖縄大会

**優勝！**

おめでとう

**細川敬介さん(壮年男子)**

**壮年で初優勝なる**

**矢野雄祐・梯隼人ペア(一般男子)**

**この種目、福岡は2年連続だ**

壮年男子単 松本さん 第3位 (2年連続)

壮年女子複 松本・新原組 第3位

壮年男子シングルスと一般男子ダブルスの2種目で優勝——第35回全国スポーツ祭典テニス大会は11月1、2日に沖縄県奥武山公園テニスコートで開催、福岡県勢(九州ブロック代表含む)は過去最多の35名が出場。壮年男子単は細川敬介さん(九州ブロック)が、一般男子複は矢野雄祐・梯隼人組(福岡代表)が見事激戦を勝ち抜き共に初優勝しました。細川さんは過去の一般男子優勝とあわせて2冠獲得、また男子複は昨年の高橋和宏・西上尚志組の優勝に続く2連覇を飾りました。その他では壮年男子単で松本淳平さんが昨年に続き3位、壮年女子複で松本真奈美・新原彩組も3位入賞を果たし検討しました。

この大会は初戦敗退の選手による敗者復活のコンソレーションも行われており、ミックスの部で福田優・杉本勇勅組(九州ブロック)が優勝、壮年男子単の高木智浩さん(福岡代表)が、また壮年女子複では迫口直子・後藤貴子組(九州ブロック)がそれぞれ決勝で惜しくも敗れ準優勝でした。参加された選手のみなさんお疲れさまでした。(大会結果は5面、6面に掲載)

## 一般男子ダブルス 福岡が見事2連覇達成！

今大会の男子ダブルス陣は全ペアが1、2回戦を突破。ベスト4を独占する勢いが感じられました。しかし、前年優勝の高橋・西上ペアと楠本・橋本ペア、鳥谷・三戸谷ペアも惜しくも準々決勝で敗れ、唯一残ったのが矢野・梯ペア。矢野・梯ペアは初戦の1回戦をタイブレの末、京都代表を下すと勢いに乗り決勝でも8-3と圧勝、見事優勝に輝きました。この種目、福岡県は昨年に続く優勝となりました。

梯さん「なんと言ってもペアのおかげ。欲を言うと福岡同士で決勝やりたかったですね」。矢野さん「優勝？やっぱりパートナーがすごい。私ですか、泡盛パワーでしょうね」。福岡ペアを撃破して決勝まで勝ち上がってきた千葉ペアに3連勝はさせないと気合も入って試合に臨み、最後まで気を抜かずにゲームを先手でリード。そのまま押し切りました。



優勝を決めた矢野・梯ペア。





優勝を飾った細川さんのプレー

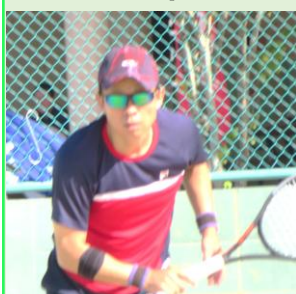
## 細川さん、壮年男子シングルスを制す

### 一般と壮年の2冠達成

壮年の部に出場して4回目。ついに頂点立ちました。過去一般の部では2連覇2度の計4回の優勝を誇るHP曾川さん、今回の優勝で、一般と壮年の2冠を手に入れました。本大会は2回戦から登場、準々決勝までいづれも6-0のラブゲームで相手を退けベスト4に進出。準決勝は同じ福岡の松本さん。お互いを知り尽くした試合になりましたが8-5で勝ち、決勝へ。決勝の相手は昨年の優勝者。連覇を阻み見事優勝を飾りました。

## 壮年男子シングルス

### 第3位



2年連続3位の松本さん

準決勝で細川さんに敗れた松本さんは、昨年に続き3位。またしても決勝進出を逃し「勝ち負けが逆になればよかったんですが。あきらめずに来年もがんばります」と松本さん。

本線1回戦敗退も、コンソレの対戦では本来のプレーが随所に現れ3勝し決勝へ進出。決勝では完敗しましたが、高木さん「勝ちたかったですけど、試合楽しめましたから良かったです」。



兵庫代表に0-6と完敗した飛永さん。試合後のアドバイスで相手選手からプレーをしつこくされたら嫌でした」と告げられ「もっと粘りのあるテニスが必要と思いました。コンソレではこの指摘を試合でいかせました」と語りました。



1回戦を危なげなく勝ち上がった大野さん、第1シード枠に入った大阪代表と対戦、惜しくもタイブレイの末、敗れました。「途中ゲームをリードしていたんですがね。詰めが甘かったですね。来年、また挑戦したいです」。



準決勝で敗退した松本・新原ペア

## 壮年女子ダブルス

### 第3位

準決勝で惜しくも敗れ決勝進出を逃した松本・新原ペア。序盤は互角の試合運びでしたが、9ゲーム以降はキープできず、結果4-8で敗退しました。



1回戦からの組み合わせとなった井上・小森ペア。ゲームの主導権が握れず5オールの接戦も5-7で敗れました。小森さん「ダウン、ブレイクのゲーム運びで、5-4とリードした第10ゲームをとれなかったのが惜しかったです」と悔しさを見せていました。



## コンソレミックスダブルス優勝

福田・杉本勅ペアは、本戦では惜しくも敗れたもののコンソレの部では3勝をあげて見事に優勝。福田さん「初めての全国大会で、緊張感もあったのか本戦は自分のプレーができなかったです」。杉本さん「予選からミックスは初めてで、もちろん全国も。次回、リベンジしたいですね」。





初戦を勝って、福岡対決と行きたかった迫口・後藤ペア。「4-3リードの8ゲーム目、ここをジュースで1ポイントが取れなかったのが痛かったです。コンソレがんばります」（後藤）そのコンソレ、優勝は逃したものの2勝をあげる活躍でした。



夫婦ペア同士の対戦となった永田夫妻は1回戦から登場。4-6と初戦敗退となりました。「取りたいゲームが取れなかったのが痛かったですね」（康裕さん）、「試合は楽しくやれたんですが、自分からもっとね、できればねよかったです」（奈津実さん）。



会場となった奥武山公園テニスコート



### 一般男子シングルス

#### ◇大野文也（福岡）

1回戦：6-4 服部翔太（三重）  
2回戦：6（3）-7 永山悠斗（大阪）

#### ◇永井慶人（福岡）

2回戦：6-3 井口瑛心（滋賀）  
準々決：6（5）-7 市瀬智輝（神奈川）

#### ◇安西大虎（九州ブロック）

1回戦：6-3 山本悠樹（京都）  
2回戦：7-5 池田賢矢（埼玉）  
準々決：4-6 平林 諒（千葉）

### 一般女子シングルス

#### ◇飛永夕佳（福岡）

2回戦：0-6 川口美沙（兵庫）

#### ◇田中恵夢（福岡）

2回戦：6-2 裕原奈那（大阪）  
準々決：2-6 中谷美紀（京都）

#### ◇水品亜里沙（九州ブロック）

2回戦：6-3 早川エレナ（埼玉）  
準々決：3-6 小野陽菜（千葉）

### 壮年男子シングルス

#### ◇高木智浩（福岡）

1回戦：2-6 天羽秀介（北海道）

#### ◇松本淳平（福岡）

2回戦：6-2 小林正和（兵庫）  
準々決：6-3 太田真宏（静岡）

準決勝：5-8 細川敬介（九州B） ※第3位

#### ◇細川敬介（九州ブロック）

2回戦：6-0 吉岡一郎（和歌山）  
準々決：6-0 佐藤陽介（沖縄）  
準決勝：8-5 松本淳平、  
決勝：8-4 入江正和（大阪） ※優勝

### 男子ダブルス

#### ◇高橋和宏・西上尚志（前年優勝）

2回戦：6-4 菊地・野村（埼玉）  
準々決：6-4 島川・熊田（北海道）  
準決勝：6-8 諫山・諫山（千葉）

#### ◇鳥谷 穂・三戸谷勇樹（福岡）

1回戦：6-3 秋葉・牛田（高知）  
2回戦：7-5 中村・酒井（静岡）  
準々決：4-6 諫山・諫山（千葉）

#### ◇楠本一貴・橋本翔弥（九州ブロック）

1回戦：6-3 秋葉・牛田（高知）  
2回戦：6-2 林・西村（和歌山）  
準々決：3-6 廣瀬・河原（大阪）

#### ◇矢野雄祐・梯 隼人（福岡）

1回戦：7-6（1） 新竹・服部（京都）  
2回戦：6-3 櫻井・高瀬（兵庫）  
準々決：6-0 屋富祖・久貝（沖縄）  
準決勝：8-3 廣瀬・河原（大阪）

決勝：8-3 諫山・諫山（千葉） ※優勝

### 女子ダブルス

#### ◇久光志都佳・松浦夕貴（福岡）



2回戦：6-1 徳山・渡邊（東京）

準々決：5-7 大嶋・氷室（兵庫）

◇**粥川捺美・永松まい子**（福岡）

2回戦：2-6 當銘・仲村（沖縄）

◇**大田理紗子・橋川紗也子**（九州ブロック）

2回戦：6-2 田村・彦阪（京都）

準々決：4-6 梅田・大津（神奈川）

**壮年女子ダブルス**

◇**松本真奈美・新原 彩**（福岡）

2回戦：6-3 南・山口（滋賀）

準々決：6-4 與那嶺・西廻（大阪）

準決勝：4-8 平山・富澤（千葉） **※第3位**

◇**井上信香・小森晶子**（福岡）

1回戦：5-7 渡邊・富田（千葉）

◇**迫口直子・後藤貴子**（九州ブロック）

2回戦：4-6 與那嶺・西廻（大阪）

**ミックスダブルス**

◇**西内涼奈・金本一真**（福岡）

2回戦：2-6 中谷・石川（大阪B）

◇**永田奈津実・永田康裕**（福岡）

1回戦：4-6 梅田・梅田（東海B）

◇**福田 優・杉本勇勅**（九州ブロック）

1回戦：3-6 山口・秀（埼玉）

**コンソレーション（壮年男子シングルス）**

◇**高木智浩**

1回戦：6-1 北尾直道（京都）

準々決：6-3 比嘉福也（沖縄）

準決勝：6-2 小坂英登（東京）

決勝：0-6 小杉健一（埼玉） **※準優勝**

**同（女子シングルス）**

◇**飛永夕佳**

1回戦7-5 中島 桃（北海道）

準決勝4-6 中野紀子（千葉）

**同（女子ダブルス）**

◇**粥川捺美・永松まい子**

2回戦3-6 田村・彦阪（京都）

**同（壮年女子ダブルス）**

◇**迫口直子・後藤貴子**

2回戦：6-4 稲福・石原（沖縄）

準決勝：6-4 南・山口（滋賀）

決勝：4-6 川崎・高岸（埼玉） **※準優勝**

◇**井上信香・小森晶子**

1回戦：5-7 神・喜多（沖縄）

**同（ミックスダブルス）**

◇**西内涼奈・金本一真**

1回戦：6-4 長岡・坂本（愛知）

2回戦：6-2 槇野・中本（大阪）

準決勝：3-6 福田・杉本（福岡）

◇**永田奈津実・永田康裕**

1回戦：3-6 吉弘・三田村（和歌山）

◇**福田 優・杉本勇勅**

2回戦：6-3 宮尾・高山（三重）

準決勝：6-3 西内・金本（福岡）

決勝：6-2 宮地・大島（神奈川） **※優勝**

